



撮影可能  
No Flash Photography Allowed

SNS拡散プリーズ！



未来を育てる

マナビラボ

ひとはもともとアクティブ・ラーナー！

—アクティブラーナーズサミットの開催ご挨拶と趣旨—

中原 淳

東京大学・准教授  
未来を育てるマナビラボプロジェクト研究代表者

中原 淳 (なかはら・じゅん)



● 東京大学・准教授, 博士

- 大学総合教育研究センター准教授
- NPO法人カタリバ理事など

● 研究テーマ：人材開発論

- どのような人材が社会に必要なになるか？
- そのための学びはいかにあるべきか？
- アクティブラーニングに強い関心

● マナビラボプロジェクト  
研究代表者

- JCERI(河合塾グループ)との共同研究  
心より感謝いたします！



アクティブラーナーを育てる高校を応援したい！という思いで  
3年前、2015年にプロジェクトを立ち上げました！：今日はその最終成果報告会  
プロジェクトの目的は何か？



# 高校の枠を超えた学びを応援する

高校におけるアクティブラーニング型授業  
推進のための高大連携プロジェクト

1

## 数字：全国の高校の授業の実態を数値化

全国の普通科またはそれに準ずる学科および総合学科を有している**すべての高等学校 (3,893校)**を対象とした日本初の大規模アンケート調査を実施。計**49,864名**の教員が回答。

2

## 物語：授業実践を再発掘

教室や教科、高校の枠を超えて**生徒たちが自ら学び続けるアクティブ・ラーナーになることを支援する授業**を展開している全国の高校の先生を訪ね、授業見学およびヒアリングを通じた**個別調査**を実施。

3

## つながり：先生のためのコミュニティづくり

全国実態調査の分析結果や、個別調査を通して収集した授業の事例の紹介をはじめ、学びに関する理論を解説するなど、情報量満載の**先生のためのポータルサイトを開発・運営**。月に約**15コンテンツ**を更新。



そして本も出版してきました！



左の本は・・・入り口で売っています！

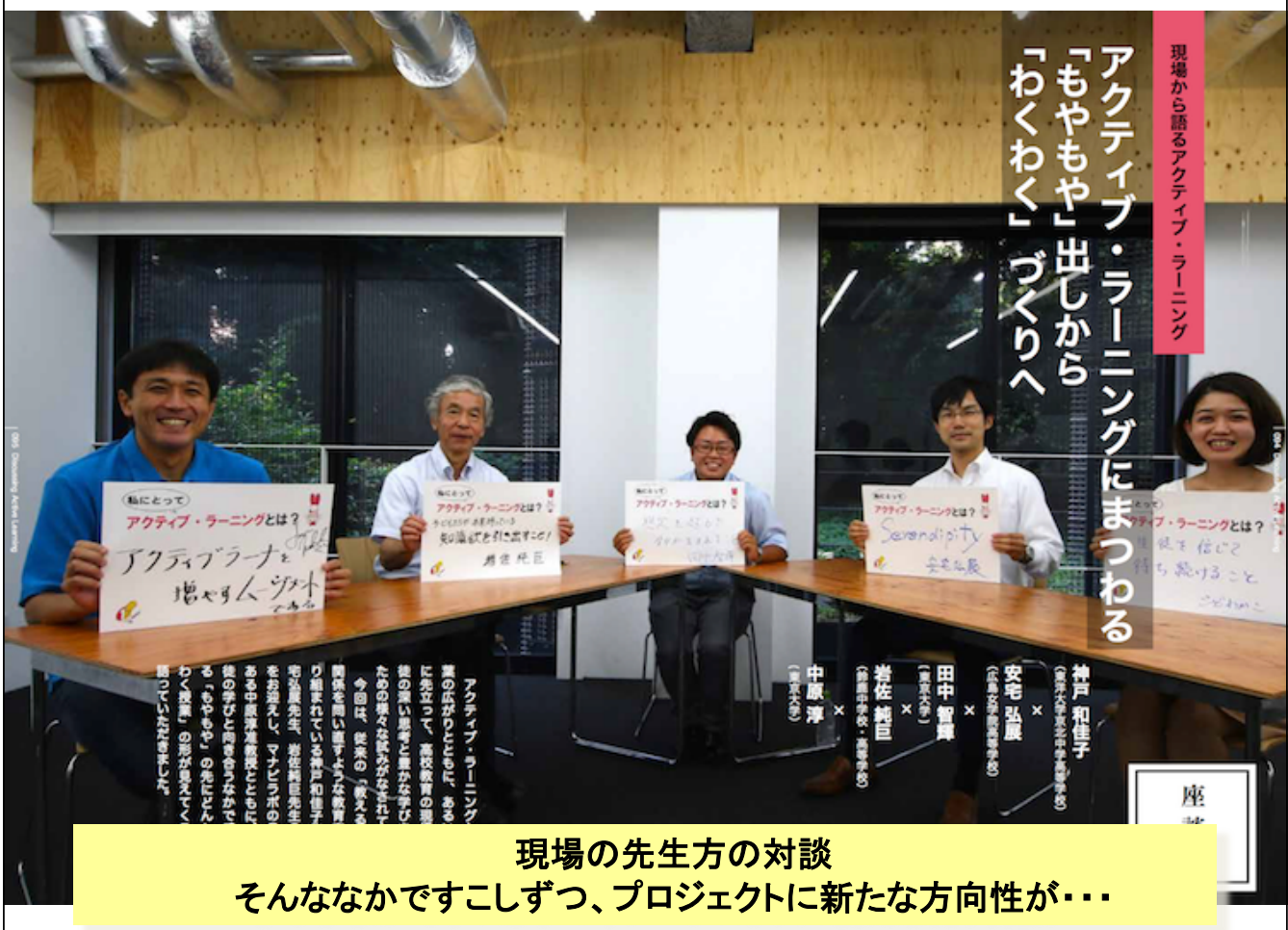


国語 (古文) 2年生  
東京都立南大宮高等学校  
坂塚 理子 先生



グループワークで  
他者の考えを取り入れて、  
生徒の理解を豊かにしつつ、  
リーダーシップも育成する。

### 素晴らしい授業実践事例



現場から語るアクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングにまつわる  
「もやもや」出しから  
「わくわく」づくりへ

私にとって  
アクティブ・ラーニングとは？  
アクティブラーナーと  
増やす工夫  
アクティブ・ラーニングとは？  
アクティブラーナーの  
気づきと実践  
アクティブ・ラーニングとは？  
アクティブラーナー  
増やす工夫  
アクティブ・ラーニングとは？  
アクティブラーナー  
増やす工夫

神戸和佳子 (東京都立南大宮高等学校)  
安宅弘展 (東京都立南大宮高等学校)  
田中智輝 (東京都立南大宮高等学校)  
岩佐純巨 (東京都立南大宮高等学校)  
中原淳 (東京都立南大宮高等学校)

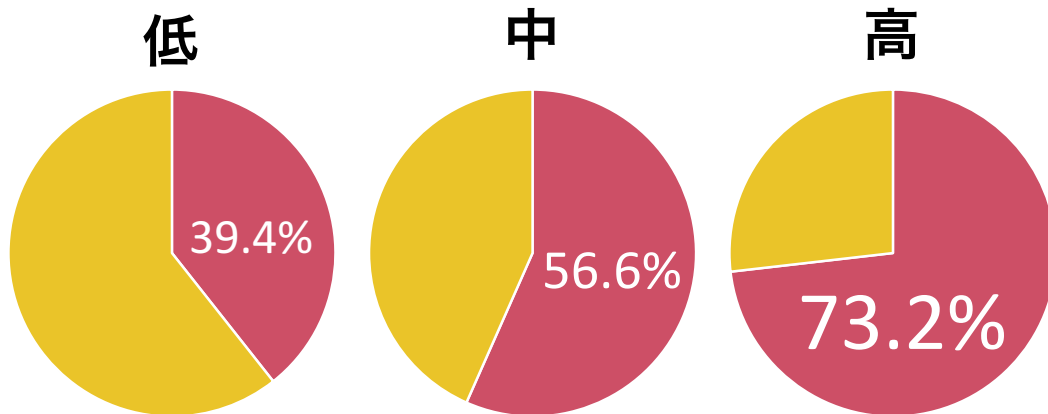
アクティブ・ラーニング  
の広がりやその効果  
に先立って、高校教育の運  
営の新しい思考と実践が求め  
られる。様々な試みがなされて  
いるが、従来の「教える」  
関係性から、生徒の主体的な  
学びを促している実践が期待さ  
れる。本記事では、現場から  
実践を語り、アクティブラー  
ナーの育成に貢献している  
実践者から、アクティブラー  
ニングの意義や実践の工夫  
について、現場から語り  
たい。

座談

### 現場の先生方の対談 そんななかですこしずつ、プロジェクトに新たな方向性が...



# アクティブラーニングを「面＝組織ぐるみ」で行うことの重要性



- カリキュラム・マネジメントできている（＝教育課程や授業内容の評価・改善に組織的に取り組んでいる）学校の方が、アクティブラーニングの実施率が高い

アクティブラーニング×カリキュラムマネジメント  
 アクティブラーニングの「教育論」から「組織論」へ  
 「点」から「面」へ・・・書籍でも触れています

対談

## 授業改革は 学校改革に通ず



岩手県立花巻北高等学校長  
**下町 壽男**  
 ×  
 東京大学准教授  
**中原 淳**



上から目線の指導、裏カリキュラム、  
未履修問題……

中原 下町先生はこれまで岩手県立盛岡第三高校（盛岡三高）、大野高校（大野高）で管理職を務められ、今年度（2016年度）から花巻北高校（花巻北高）で校長となられました。管理職になってからは

もちろん、教諭時代からも独自に授業改革に取り組んでおられたと聞きます。今回はそのご経験から、今後、アクティブ・ラーニング（AL）を推進する学校づくりのためのヒントをうかがえればと思います。まずは、副校長として赴任された盛岡三高でのご経験からお願います。

下町 盛岡三高には副校長となる前から教諭として務めていました。当時、他の進学校同様、話題になった未履修問題という、いわゆる裏カリキュラムの問題、一方通行的な授業スタイル、大学進学指導偏重等々の問題を抱えていました。ただ「成果」を上げていたことも事実で、文武両道の名の下、進学実績でも難関大学に合格者を出し、インターハイ選手も輩出していました。しかし実際のところは先生方の量の力量に依存する体制であり、例えば部活に力を入れる派と進学実績を上げようとする派で衝突があったりとか、生徒にとっては、決してのびのびと学ぶ環境ではなかったと思います。

そうした中で未履修問題が起こり、それがきっかけで学校改革に取り組もうという気運が高まりました。着手したのは、当時、私が他校に移った後に来られた校長先生でした。

手前味噌になってしまうのですが、実はその改革が始まる前から私自身は授業を中心に何とか学校を変えていきたいと、いろいろと画策はしていました。しかし多くは単独プレーであり、自分の授業を変えることで精一杯で、結局、周りを動かす力にはなりません。今、ALという言葉が踊り出していることに批判もありますが、かつては「私の工夫した授業」で終わっていたものが「私たちが目指す人づくり」へと、ダイナミックな変革を後押しするものとして、私はこのALブームをポジティブに捉えています。

また盛岡三高の改革が始まったとき、当時はアクティブ・ラーニングという言葉は流通していませんでしたが、言語活動の重視など、授業改善・カリキュラム改善の社会的な追い風はあったと思います。だから個人個人というよりは、学校全体で変えていこうとい

新たな問い：アクティブラーナーを育てる組織をいかにつくるか？  
 その詳細は、どうぞご覧ください！





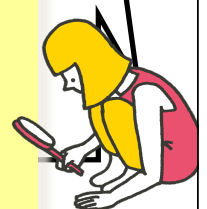
くどいようですが・・・みなさん  
こちらは・・・入り口で売っています！  
さらに・・・なぜ本日みなさまにお集まりいただいたのか？

## アクティブラーナーを育てることは 日本の教育、今世紀最大の挑戦 これは「世直し」である



- ①日本は広い
- ②そして私たち大学人は「無力」です
- ③現場の変革は、現場の人が面白がり、実践していただくことが重要です！

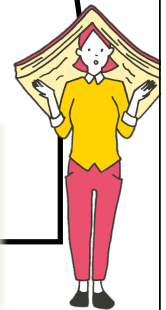
このことをわかっていない「ゲンナリする教育改革」が多い



**現場を指導する皆様を  
「側方支援」させてください！  
「同じ船」にのって「世直し」をしませんか？**



**今日は「ゲンナリ」ではなく  
「元気」になってかえりませんか？**  
今日の目的と内容は・・・

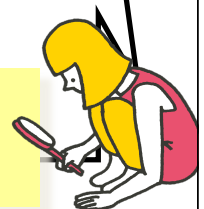


## **本日の目的**

### **配付資料・プログラムをご覧ください**

- ①現場の先生方、指導主事、教育センター  
管理職の先生方
- ②自校、自県の教育改善を為していくための
- ③データ、事例、手法をお持ち帰りいただくこと

**「ゲンナリ」ではなく「元気」になってかえる！  
次のアクションのための学びの場にしてください**



今日一日どうかお楽しみください！  
それでは調査報告から！

